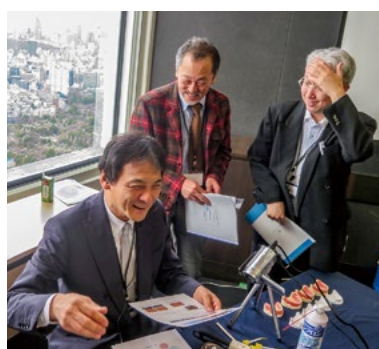


# 第28回 アジア口腔インプラント学会

日時：平成30年3月17日(土)、18日(日)  
場所：六本木アカデミーヒルズ



藤田 陽一（神奈川県）

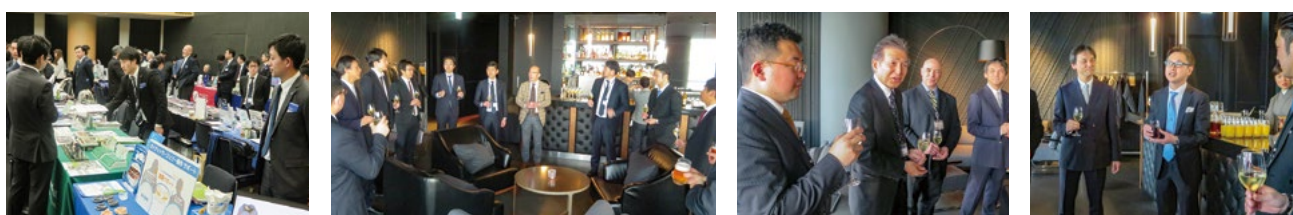


平成30年3月17日(土)、18日(日)の2日間、六本木アカデミーヒルズにて、大会長・水口稔之先生、会長・井上達先生のもと『第28回アジア口腔インプラント学会』が開催されました。昨今のインプラントに関する情報は、主に欧米人の骨格を元に考えられ発信されましたが、「アジア人の骨格はアジア人でなければわからない」という信念から、当学会ではアジア各国の先生方との交流を深めつつ、インプラントの技術発展に寄与してまいりました。かくいう私も半年ほど前よりアジア口腔インプラント学会の実行委員の一員として、井上会長、水口大会長、各実行委員とともに繰り返しミーティングを重ねてまいりました。

今回の学会は2日間に渡り、参加者だけでも300人～400人を見込んでおります。スピーカー

は各日7人、ハンズオンコースが5コース、ランチ時のテーブルクリニックが3コース、協賛企業が27社と大変大きな学会となり、準備の方もいつにも増して時間を要しました。土曜日は、日本を代表するようなスタディーグループから選ばれた若手インプラントロジストによる講演がありました。日本歯科先端研究所から竹島明道先生、日本橋インプラントセンターから玉木仁先生、JAIDから森本太一朗先生、5-Dから丹野努先生、CIDから岡田素平太先生、海外からMaxineTzeng先生、そしてCISJからも「歯周病におけるインプラント治療、感染のコントロールとティッシュマネジメント」という題目で岩野義弘先生が発表されました。それと同時にハンズオンが開かれ、林揚春先生、行田克則先生、大塚隆先生、松本勝利先生、柏井伸子先生によ

## 第28回アジア口腔インプラント学会



る審美・咬合・メンテナンスあるいは豚顎骨実習等が催され、どのコースも盛り沢山で刺激となる内容ばかりでした。この日はCISJ会長である田中譲治先生のあいさつで締め、その後六本木ヒルズライブラリーカフェに会場を移し、ウェルカムパーティーが開かれました。会場には、元プロテニスプレーヤーの杉山愛選手をゲストに迎え賑やかに行われました。

2日目となる日曜日は井上会長、水口大会長のあいさつにはじまり、午前中は「インプラントクラウンと周囲軟組織」という題目で榎本紘昭先生、「審美領域におけるインプラント周囲の乳頭再建について」という題目で行田克則先生、「GBRの進歩」という題目で石川知弘先生の講演、午後は「長期的安定のための口腔内外のインフェクションコントロール」という題目

で柏井伸子先生、「補綴主導時におけるスーパーストラクチャーと咬合付与について」という題目で松本勝利先生、「審美領域における抜歯即時埋入の適応症を考える」という題目で林揚春先生、「Four new innovations」という題目で台湾よりお越しいただいたレオン・チェン先生の講演がありました。初めて運営に携わった私にとってこの2日間の学会はプレッシャーの連続でしたが、大きな問題もなく無事学会が終了したことを大変嬉しく思っております。

そして実行委員の打ち上げは、六本木ヒルズの個室バーに移動し盛大に行われました。会長の井上達先生、大会長の水口稔之先生、国際事務局長の若井広明先生、CISJ会長の田中譲治先生、各実行委員の先生方、本当にお疲れ様でした。そして有難う御座いました。